

ISBN978-4-588-60225-2
C3333 ¥5400E

定価（本体5400円＋税）



今日、ガバナンス（Governance）の問題が広範な分野で注目を浴びている。ここでいうガバナンスとは、経済主体間、民間・政府セクター間、中央・地方政府間、国家間などに存在するさまざまな「外部性（externality）」を「内部化（internalization）」し、解決する仕組み・やり方の総称である。本書は、ゲーム理論や契約理論の分析ツールを用いて、民間（企業）、政府、超国家機構の各セクターにみられるガバナンス・メカニズムを理論的かつ実証的に比較分析することで、セクターを横断してのガバナンスの普遍的特色を明らかにするだけでなく、各セクター固有のガバナンスの特色をいっそう浮き彫りにする、革新的な書物である。

比較経済研究所研究シリーズ 25
ガバナンスの比較セクター分析

ゲーム理論・契約理論を用いた学際的アプローチ

法政大学比較経済研究所
鈴木豊 編

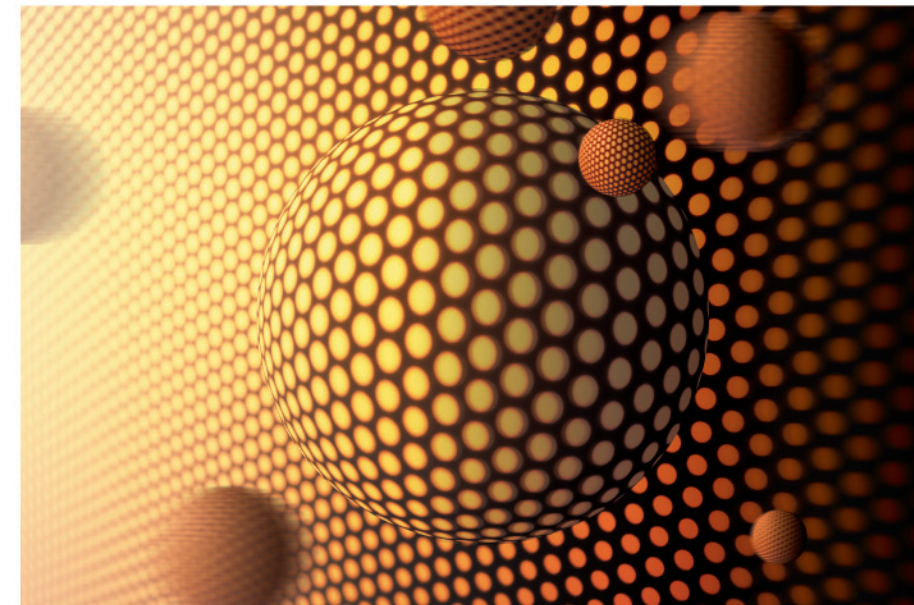


比較経済研究所研究シリーズ 25

ガバナンスの 比較セクター分析

ゲーム理論・契約理論を用いた学際的アプローチ

法政大学比較経済研究所／鈴木豊 編



法政大学出版局

